



## 外国ルーツの子どもたちの夏を地域で応援 「夏休みこども日本語教室」最終日にハラルピザづくり体験

宗像市では、外国人住民が年々増加しており、令和6年度には1,000人を超えました。子どもたちの国籍や言語、文化的背景も多様化が進む中、日本語の壁に直面しながら地域や学校に通う子どもたちが増えています。

こうした課題に向き合うため、「宗像地域国際交流連絡協議会」（構成：大学、企業、行政など）では、夏休み期間中に「夏休みこども日本語教室」を開講（全5回）。地域で暮らす外国にルーツをもつ子どもたち約10名が参加し、日本語学習や宿題支援を行ってきました。指導にあたったのは、地元の日本語ボランティア、学校の日本語指導教員や、宗像市近隣の大学に通う大学生たち。子どもたち一人ひとりの背景に寄り添いながら、楽しく安心して学ぶの場をつくってきました。

この教室は、夏休みに学ぶ機会を得にくい子どもたちの孤立や学習の遅れを防ぎ、仲間とつながる居場所をつくろうと、地元ボランティアの声から生まれました。日本語学習だけでなく、宿題のサポートや子ども同士の交流の時間も大切にしています。国籍や言葉の異なる子どもたちが、「ここでは安心して過ごせる」と感じられる場所を目指しています。

最終日には、教室の会場である「ひのさと48」の皆さんと一緒に、ピザづくり体験を行います。地元で採れた新鮮な野菜を使い、宗教や文化に配慮したハラル対応のピザを、みんなで力を合わせて手作りします。この体験は、学習をがんばった子どもたちへのごほうびになればと、ボランティアスタッフが企画しました。

### 【夏休みこども日本語教室】

日 時： 8月22日(金) 9:00~12:00

※ピザづくりは、11:00~12:00

場 所： ひのさと48 104号室

(宗像市日の里5-3-98)

内 容： 日本語学習／宿題支援／ピザづくり体験

参 加： 外国にルーツを持つ子ども約10人

(アメリカ、パキスタン等)

支援者約10人(ボランティア、大学生)



【夏休みこども日本語教室の様子】

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市 教育委員会 地域教育連携室 担当：占部 TEL：0940-36-1169

携帯：090-4348-2917